

PARCOが主催するART & CULTUREの祭典 『P.O.N.D.』コンセプトは「Dialogue/あたらしい対話に、出会う。」 渋谷PARCO全館を使って開催決定！

株式会社パルコ（本部：東京都渋谷区）は、アート、ファッション、エンターテインメント、テクノロジーなど、多方面で活躍する新進気鋭のアーティストたちによる祭典〈P.O.N.D.〉を渋谷PARCOにて開催いたします。今年で4回目の開催を迎える〈P.O.N.D.〉では、アーティストが独自の表現を追求し、アート、音楽、ゲーム、ファッション、映画など、様々なアートフォームを通して今を捉えるべく発信を続けてきました。渋谷の中心にある渋谷PARCOを舞台に、〈P.O.N.D.〉（PARCO Opens New Dimension）、常に新しい次元を切り開いていきたいという希望を含め、今年もイベントを開催いたします。



今年は、「Dialogue/あたらしい対話に、出会う。」をコンセプトに、作家と鑑賞者、作家間、鑑賞者間、作家と展示空間の関係性から形成される、オルタナティブな対話を模索します。また、リアルな空間に人々が集うからこそ生まれるコミュニケーションの創出を目指し、ライブやパフォーマンスのイベントも複数予定しています。

齟齬や不理解と度々遭遇するこの時代だからこそ、アートは求められ、言葉を越えた対話を生むきっかけになれるのではないかと。本イベントが、そのような「あたらしい対話に出会う」場所となることを期待します。また今年は、昨年の参加作家から選ばれた6名のレコメンダーによる推薦制度を設けました。推薦枠の作家の作品もお見逃しなく、11日間にわたり、渋谷PARCOの各所に立ち現れるアートのエネルギーが皆さんを包み込む、豊かな対話の体験をお楽しみください。

P.O.N.D.2023 Dialogue/あたらしい対話に、出会う。

- 会期：2023年10月13日（金）～10月23日（月）11日間 11:00～21:00
 - 会場：渋谷PARCO館内外（PARCO MUSEUM TOKYO・GALLERY X他）＜東京都渋谷区宇田川町15-1＞
※開催日時はイベント会場によって異なります。
 - オフィシャルHP:<<https://pond.parco.jp/>> ●オフィシャルInstagram:<<https://www.instagram.com/p.o.n.d.official/>>
 - 渋谷PARCO HP:<<https://shibuya.parco.jp>> ●PARCO ART:<<https://art.parco.jp/museumtokyo/detail/?id=1313>>
 - 主催：「P.O.N.D.」実行委員会
 - アートディレクション：石塚 俊
 - 空間デザイン：山田紗子建築設計事務所
 - 運営・全体コーディネート：PARCO、RCKT/Rocket Company*
 - 追加情報は公式HP<<https://pond.parco.jp/>>、オフィシャルInstagram:<<https://www.instagram.com/p.o.n.d.official/>>にて随時発表いたします。
- ※営業日時は変更となる場合がございます。詳しくは渋谷PARCOのHP <<https://shibuya.parco.jp>>をご確認ください。
※企画内容は予告なく変更になる可能性がございます。

<本件に関するお問い合わせ先>

- 株式会社パルコ 宣伝部 那須 nasu-haru@parco.jp /青木 ao-ryo@parco.jp

Exhibition

個性豊かなアーティストの作品が、渋谷PARCO館内から鑑賞者へと、新しい対話を促します。

4 FPARCO MUSEUM TOKYOを中心に、1Fメインエントランス、エレベーターホール、通路などにも作品を展示し、作品を通して鑑賞者の好奇心を刺激。豊かなコミュニケーションが生まれる11日間をお楽しみください。

PARCO MUSEUM TOKYO (メイン会場)

異種混淆の表現手法から成る15名のアーティストが“Dialogue”をテーマに作品を展示。山田紗子建築設計事務所のディレクションによる、ソファを配したサロンのような空間が自身や相手との対話を誘い、新しいコミュニケーションがゆるやかに生まれることを期待します。

■会期：2023.10.13.(金) - 10.23.(月) 11:00-21:00

※OPEN初日は10:00～12:00の間メディア内覧会がございますが、一般のお客様は通常通り11:00～ご入場可能です。

※入場は閉場の30分前まで

※最終日は18:00閉場

■会場：PARCO MUSEUM TOKYO (渋谷PARCO 4F)

■入場料：無料

■空間デザイン：山田紗子建築設計事務所

■アーティスト：

auskou | David yuto | iz | Lee He-Yi | You2 | 石崎朝子 | 伊藤颯 | 大澤一太 | ささきなつみ | 園田将久 | 手塚美楽 | 中西凜 | 山口みいな | 山崎結子 | 湯浅敬介



auskou
スタイリスト

1998年東京生まれ、武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科テキスタイル専攻卒業。大学では主にシルクスクリーン、鋳染めを用いた作品を製作する一方で、スタイリストとしての活動を開始する。卒業後はjumadiba, peterparker69などのアーティストのスタイリングを手掛ける。またauskou名義での衣装制作や、ファッションブランドから依頼を受け洋服の加工、デザインワークなど活動は多岐に渡る。

Instagram <https://www.instagram.com/auskou/?hl=j>



David Yuto
アーティスト

精神世界の顕在化。非物質的なイメージを現実空間に立ち上げること自体をテーマにし、絵画・立体造形・イベント立案と領域を横断しながら思索を続けている。

Instagram <https://www.instagram.com/davidyuto/>



iz
アーティスト

1998年和歌山県生まれ。東京を拠点に活動するアーティスト。日常の気晴らしのために描いていたドローイングが友人や周りからの反響を呼び、2019年秋頃から徐々に制作をスタート。2020年より、油彩によるペインティングを制作。2022年5月自身初個展“Breathe in Breathe out”をdomicile tokyoにて開催。2022年12月 "insect cage" をstacks bookstoreにて開催。

Instagram https://www.instagram.com/iz_1984/?hl=ja

HP <https://www.tumblr.com/iz1984?source=branch>



Lee He-Yi
現代アーティスト

私は常に未来への不安というテーマを探求しています。変動し続ける状態であるという感覚や、個人がいかに未知なるものに対応していくのかについての思考が、彫刻、絵画、その他さまざまな媒体を用いて形象化され、見る者に没入感のある体験を与えます。そして、不安や混乱を伝えると同時に、不確実なものに直面した人間の精神の回復力をも探求しています。

Instagram <https://www.instagram.com/leeheyee/>



You2
アーティスト

1999年、大阪で生まれ九州で過ごす。高校卒業後、大阪に戻り2019年から自身の履き潰したスケートシューズを用いたコラージュ作品を作る。現在は、自身を取り巻く環境に属する友人・知人が履いていたシューズを使用し、製作に取り組む。「劣化し、破壊された靴」にある負のイメージに、「創作する」ことによる正のフィードバックを与えることで、暗澹とした世界や感情から光を見出したときの瞬間的な美しさを立体・半立体的に表象する。2022年には「ANECDOTE」、2023年には「Precinct」と過去2回の個展を敢行。3回目の個展開催に向け、鋭意製作中。

Instagram <https://www.instagram.com/you2.asia>

※企画内容・参加アーティストは予告なく変更になる場合がございます。※各イベントの混雑状況により、ご鑑賞・ご参加頂けない場合がございます。

※会場では必ず係員の指示に従ってください。

※天候・その他要因により、イベントが中止になる場合がございます。※販売商品はなくなり次第終了となります。

※写真はイメージです。変更になる場合がございます。

■ Exhibition

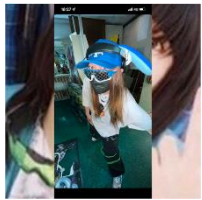
PARCO MUSEUM TOKYO (メイン会場)



石崎朝子
美術家

ストリートのリアリティから出発した表現をテーマに、彫刻・映像・パフォーマンスを用いて制作活動を行う。渋谷の坂と身体の関係性をモチーフにした《City Angle》(2021)や、スケーターやグラフィティライターによる街へのアクションから連想した《トレーシング・シティ》(2022-23)など、都市空間のフィールドワークを通して、都市の他なる視点を再構築する作品を発表している。

Instagram https://www.instagram.com/asako_ishi/



伊藤颯
アーティスト

I ate hay, Layer:1.01 uN LimIted RuLeBook 写真がもつ写真性とはなんなのだろう。今作は写真が持つ従来のネガポジと言われる事や、暗室で行う手焼き、現像などの従来の行為を伊藤なりに再解釈し、自分が今考える写真を新しく出力した。伊藤は、従来写真がこうであったという常識を、少しずつ丁寧に解除していくことで、今写真が持つ規則の中で表現できない新たなルールを提示している。今まで写真が持っていた規則というものは、未来の写真におけるほんの一部であって、従来の規則だと表現しきれないものが写真だろう。uN Limited RuLeBook とは和製英語であり、例外の方が多い規則という意味の言葉だ。現代における写真とはその名の通り、例外の方が多い規則になっているのではないだろうか。

Instagram https://www.instagram.com/pipe_cut/?hl=ja



大澤一太
アーティスト

1999年埼玉県熊谷市生まれ、京都芸術大学(旧京都造形芸術大学)大学院修士課程 美術工芸領域 映像メディア専攻在籍。自らが経験した出来事や他者との関わりから、身体や精神の在り方について反省的に制作を行う。主な展覧会に、個展「火花が打ち上がるごと、うpすること、それは些細な一事」(engawa KYOTO、京都、2022) 2人展「フーリガン(位置について)」(ギャルリ・オープ、瓜生山学園京都芸術大学、2023) グループ展「ANTEROOM TRANSMISSION vol.1 - 変容する社会の肖像」(Gallery9.5 HOTEL ANTEROOM KYOTO、京都、2021) 「現代フォトアートは変容する」(MasayoshiSuzuki Gallery、愛知、2021) などがある。

Instagram <https://www.instagram.com/itsuhiroosawa/>



ささきなつみ
作家

「人も異星人のように多様な生き物だったらどうだろうか」という考えのもと、動植物や虫と人体が融合した未知生物「リンジン」と、「リンジン」を発掘・研究するN氏という人物について探求している。皮と陶を主に用い、「生物としての人間の在り方を解放する」ことを目的に制作している。

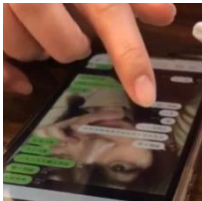
Instagram https://www.instagram.com/jinrui_natsumi



園田将久
作家

大阪府生まれ。2023年、東京藝術大学美術研究科油画を修了。私はアトリエや家で必要になった道具や家具を作ることから制作を始める。それらを作るなかで水平や垂直について考えるようになり、ここ数年は水平垂直に着目した作品を制作している。

Instagram <https://www.instagram.com/sonodamasahisa/>



手塚美楽
美術作家

2000年東京生まれ。武蔵野美術大学卒業。東京藝術大学美術研究科先端芸術表現専攻在学中。2021年、第一歌集『ロマンチック・ラブ・イデオロギー』を書肆侃侃房より刊行。インスタレーション、パフォーマンス、文章表現による制作をおこなう。

Instagram <https://www.instagram.com/taneofkaki/>



中西凜
アーティスト

1999年静岡生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻在籍。洋菓子店で育ったバックグラウンドから主に洋菓子を素材にした彫刻、パフォーマンスを制作。鑑賞体験を見るだけでなく、食べるという香りや味、食感といったアプローチで食べる彫刻(eatsculpture)を制作している。

Instagram https://www.instagram.com/rin_1247/

■ Exhibition

PARCO MUSEUM TOKYO (メイン会場)



山口みいな
アーティスト

山口みいなは日常の痕跡やドローイングを通じて線を引きくという行為を探求している。様々な場所で行っている他者とのコミュニケーションとしての「ドローイングセッション」も重要なプロセスである。人間や物質による痕跡の残り方や時間の流れとの関係や空気を用いることにより留まらない残せない作品も制作している。また和室や日本の家屋の中での作品のあり方や現代の日本の生活様式と作品の関係性についても考察している。同時に様々なプロジェクトやWSの企画も行っており、ものを作る考える体感することを通して自己の思考を追求し、新しい価値を創造する実験的な空間を提供することを試みている。

Instagram <https://www.instagram.com/miinayamaguchi/>
HP <https://miinayamaguchi.com/works.html>



山崎結子
現代アーティスト

個人間のコミュニケーションを重要視し制作を行う。色や形、質感の要素を組み合わせ、鑑賞者に親しまれる表現を意識した制作。他者を理解することで自身の中で生まれた共感を「他者受容」と解釈し具現化することを目的とした制作。この2種のアプローチをすることでそのままの自分で社会と関わりを持つことを試みている。

Instagram https://www.instagram.com/i_i00i_i/



湯浅 敬介
アーティスト

1996年京都府に生まれる。幼少期から油絵に触れ、現・京都芸術大学 こども芸術学科を2018年に卒業。1ヶ月間のニューヨーク滞在制作を経て、表象をテーマに制作を続ける。実像と自分の中にある像との齟齬、自分のイメージ像を描きおこす中で、イメージの表れ方と残留について制作を通して考える。現在は京都を拠点に活動。

Instagram <https://www.instagram.com/keisukeyuasa/>

Entrance

渋谷PARCOの顔となるメインエントランスには、VRや3DCGなどの映像技術と身体のイメージを組み合わせ様々なメディアを用いて作品を制作する、気鋭のアーティスト山内祥太の映像作品「カオの惑星_screening edition」を展示します。

- 会期: 2023.10.13. (金) - 10.23. (月) 11:00-21:00
- 会場: 1Fメインエントランス
- 入場料: 無料
- アーティスト: 山内祥太



山内祥太
アーティスト

1992年岐阜県生まれ、神奈川県在住。2014年金沢美術工芸大学彫刻科卒業、2016年東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻修了。主な個展に「第二のテクスチュア(感触)」GalleryTOH (東京、2021年)、「愛とユーモア」EUKARYOTE (東京、2022年)、「MAMプロジェクト030×MAMデジタル:カオの惑星」森美術館 (東京、2022年) など。主なグループ展に「六本木クロッシング2019展: つないでみる」森美術館 (東京、2019年)、「鈴木大拙展 Life=Zen=Art」ワタリウム美術館 (東京、2022年)、「リボンアート・フェスティバル2021-22」(宮城県、2022年)、「アルスエレクトロニカ・フェスティバル2022」(オーストラリア、リンツ、2022年) など。主な受賞歴に「TERRADA ART AWARD 2021」金島隆弘賞・オーディエンス賞、「第25回文化庁メディア芸術祭」アート部門優秀賞など。

Instagram https://www.instagram.com/shota_yamauchi/

※企画内容・参加アーティストは予告なく変更になる場合がございます。※各イベントの混雑状況により、ご鑑賞・ご参加頂けない場合がございます。
※会場では必ず係員の指示に従ってください。
※天候・その他要因により、イベントが中止になる場合がございます。※販売商品はなくなり次第終了となります。
※写真はイメージです。変更になる場合がございます。

■ Exhibition

Public Space

渋谷PARCO全館に、注目アーティストの作品を展示。フロアを繋ぐエレベーターホール、4Fアトリウム、9Fウインドウ前スペースにインパクトのある作品が立ち並び、渋谷PARCO全体をアートが包み込みます。

会期: 2023.10.13. (金) - 10.23. (月) 11:00-21:00

会場: 3Fエレベーターホール、4Fアトリウム、4Fエレベーターホール、9Fエレベーターホール、9Fウインドウ前スペース

入場料: 無料

Omega.C / Adrian Steckeweh | Sareena Sattapon | 植松美月 | 小林椋 | 笹原花音



Omega.C | Adrian Steckeweh

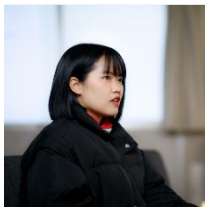
4F アトリウム

建築家、デザイナー、CG+XRアーティスト

ドイツ出身。東京在住。Adrian Steckeweh (エイドリアン・シュテッケヴェー) 建築家・デザイナー・CGIアーティスト・XRクリエイター。Omega Centauri (オメガ・センタウリ) の名のもと、仮想現実と現実の狭間で実験を試みながらARエフェクトやバーチャルアートやインスタレーションを制作する。

Instagram <https://www.instagram.com/omega.c/>

HP <https://www.centauri-omega.com/>



Sareena Sattapon

9F ウインドウ前スペース

アーティスト

サリーナー・サッタポン。1992年タイ生まれ。現在、東京藝術大学大学院美術研究科グローバル・アート・プラクティス専攻博士課程修了。パフォーマンス、インスタレーション、写真など様々なメディアを用いて作品を制作。自身の経験や日常生活から芸術的インスピレーションを得ている。サッタポンの関心は、死や孤独に関連するアート作品の無常性にある。これまでにタイ、香港、シンガポール、韓国、中国、インドネシア、ドイツ、ポーランド、ウクライナ、スロバキア、ノルウェー、スウェーデン、日本で展覧会を開催。

Instagram <https://www.instagram.com/sareenasattapon/>



植松美月

9F エレベーターホール

彫刻家、アーティスト

1995年生まれ。兵庫県出身、東京都在住。東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻博士後期課程修了。主に紙を素材とした彫刻、インスタレーションを制作している。連続した行為(=切ること)で時間を可視化し、今生きている私自身を確かめることができるのではないかと考えたことがきっかけである。2023年 Terrace Art Shonan AWARD グランプリ受賞、第25回野村美術賞受賞、藝大アーツイン丸の内2020 三菱地所賞受賞。

Instagram <https://www.instagram.com/uemassan/>

作品ポートフォリオ Instagram https://www.instagram.com/uematsu_portfolio/



小林椋

4F エレベーターホール

美術家

1992年生まれ。2017年 多摩美術大学大学院美術研究科修士課程情報デザイン領域修了。2019年 京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻修了。事物に物的な装置を挿入または類比させることで生まれる飛躍や不和のようなもの観察しながら作品を制作する。近年の展覧会に「亀はエフスのイウユのように前足を石にのぼすと」(トーキョーアーツアンドスペース本郷, 2022年)、「ニューミュレーション#4 小嶋晶・小林椋」(京都芸術センター, 2021)「エマーゼンシーズ! 032『盛るとのるソー』」(NTTインターコミュニケーションセンター[ICC], 2017)など。

Instagram <https://www.instagram.com/pocopuuu/>



笹原花音

3F エレベーターホール

アーティスト

1997年東京生まれ。人と人との関わりや、現代の社会問題にフォーカスを当て、「埋もれている」「隠れている」または「隠されていく」人々や物事の構造 といった目に見えぬ存在の具現化・可視化をする作品を発表している。

Instagram <https://www.instagram.com/kaoru.sasahara/>

※企画内容・参加アーティストは予告なく変更になる場合がございます。※各イベントの混雑状況により、ご鑑賞・ご参加頂けない場合がございます。

※会場では必ず係員の指示に従ってください。

※天候・その他要因により、イベントが中止になる場合がございます。※販売商品はなくなり次第終了となります。

※写真はイメージです。変更になる場合がございます。

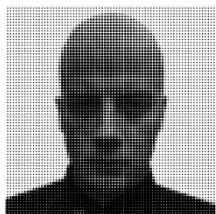
■ Exhibition

Art Wall

渋谷PARCOの西側外壁面にある6m級のアートウォール。巨大な壁をキャンバスに、気鋭のアーティストJOHNNY TERRORとYAMEPIがライブペイントを実施。11日間限定のアートウォールをお見逃しなく。

■アーティスト

JOHNNY TERROR | YAMEPI



Johnny Terror

アーティスト、クリエイター

東京をベースに活動するアーティスト、クリエイター。ベルリン芸術大学で文学士号を取得し、イラストレーションとグラフィックデザイン学部卒業。テラーの世界観は、テクノカルチャーとサイエンスフィクションから多大な影響を受けている。Æのシンボルは彼のデジタルと手描きの作品、イラストレーションとグラフィックス、そして未来と現在の融合に似ている。

Instagram <https://www.instagram.com/johnnyterror/?hl=ja89%25>



YAMEPI

アーティスト

大胆な線によって描かれる特徴的なキャラクター造形と、作り込まれた世界観が国内外から支持されるアーティスト。無数のキャラクターやストーリーは、YAMEPIが身を置くストリートカルチャーから生み出される。NFTアートやブランドの運営、モデル等活躍の幅は多岐にわたる。

Instagram https://www.instagram.com/yamepi_01/

※企画内容・参加アーティストは予告なく変更になる場合がございます。※各イベントの混雑状況により、ご鑑賞・ご参加頂けない場合がございます。

※会場では必ず係員の指示に従ってください。

※天候・その他要因により、イベントが中止になる場合がございます。※販売商品はなくなり次第終了となります。

※写真はイメージです。変更になる場合がございます。

■ Art Director/Spatial Designer

本年の〈P.O.N.D.〉は、展覧会や舞台、音楽イベントなど、これまで数多くの宣伝美術を手掛けてきた石塚俊がアートディレクションを担当し、アーティストたちの作品を彩る空間デザインにはUnder35 Architects exhibition のGold Medal受賞歴ある山田紗子建築事務所が参加。

アートディレクター：石塚 俊

1983年埼玉県生まれ。2007年早稲田大学第一文学部卒業。現代美術や舞台芸術、音楽、ファッションなどの分野において、宣伝美術をはじめ書籍装丁やディスプレイデザインに取り組む。自身のスタジオ/プロジェクトスペース「ピープル」を運営。JAGDA新人賞2023受賞。

<https://shunishizuka.com/>

Instagram <https://www.instagram.com/microtemporal/>



空間デザイナー：山田紗子

1984年東京都生まれ。大学在学時にランドスケープデザインを学び、藤本壮介建築設計事務所設計スタッフとして勤務の後、東京芸術大学大学院に進学。在学時に東京都美術館主催「Arts & Life：生きるための家」展で最優秀賞を受賞し、原寸大の住宅作品を展示する。独立後の主な仕事として、屋内外を横断する無数の構造材によって一体の住環境とした「daita2019」、形や色彩の散らばりから枠にとらわれない生活を提案した「miyazaki」等の住宅作品や、樹木群と人工物が渾然一体となる環境を立ち上げる2025年大阪関西万博休憩施設（2025年公開）などがある。主な受賞に、第三回日本建築設計学会賞大賞、第三十六回吉岡賞、Under 35 Architects exhibition 2020 Gold Medalなど。

<https://suzukoyamada.com/>

Instagram <https://www.instagram.com/yamadasuzuko/?hl=ja>



■ Program

初日にオープニングパーティーを開催するほか、パフォーマンスアート、映画上映、ナイトイベントなど期間中にもアートとカルチャーを楽しむプログラムが目白押し。〈P.O.N.D.〉の会場でしか体験できないスペシャルなプログラムをお見逃しなく。詳細は、近日公開！

【OPENING PARTY】

会期初夜、10F ComMunE + ROOFTOP PARKにてOPENING PARTYを開催。

〈P.O.N.D.〉開催を盛大に楽しむ夜にHIP-HOPシーンで活躍するアーティストによるライブアクトを予定しております。人気ゲームの楽曲に起用されたことをきっかけに世界的な注目を集めたラッパーMFS、音楽のみならず、ビジュアルディレクションやパレルプロデュースなどでも活躍するクリエイティブコレクティブSound Sportsの他、クールな仲間たちがラインナップ。

- 日時：2023年10月13日（金）OPEN START 18:00（予定）
- 会場：渋谷PARCO 10F ComMunE + ROOF TOP PARK
- 出演アーティスト：MFS

Sound Sportsほか

※観覧無料 ただし入場制限あり

※詳しくは公式HP : <<https://pond.parco.jp/>>にて随時公開いたします。(Coming soon!)

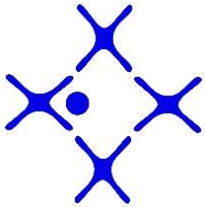
【Artist】



MFS

東京出身・大阪在住のラッパー、HIPHOPコレクティブ・Tha Jointzのメンバー。2020年7月にラップを始めて僅か1年ほどで発表した楽曲が話題を呼び、Redbull「RASEN」への出演、幕張メッセで開催された音楽フェス「POP YOURS」への出演を果たす。2022年10月に楽曲「BOW」が世界的人気ゲーム「Overwatch 2」に使用され、Spotifyグローバルチャートで1位を獲得。日本発のアーティストとして史上初の快挙を成し遂げた。2023年6月にWarner Music UKより「BOW feat. Baby Tate」をリリース。今後の世界的な活躍が期待される。

Instagram https://www.instagram.com/mother_fuckin_savage_2020/



Sound Sports

サウンドスポーツは2018年に設立されたクリエイティブコレクティブ。メンバーは4人で構成され、主に音楽イベント、アイテム販売、ビジュアル制作を行う。

Instagram <https://www.instagram.com/soundsports/>

※企画内容・参加アーティストは予告なく変更になる場合がございます。※各イベントの混雑状況により、ご鑑賞・ご参加頂けない場合がございます。
 ※会場では必ず係員の指示に従ってください。
 ※天候・その他要因により、イベントが中止になる場合がございます。※販売商品はなくなり次第終了となります。
 ※写真はイメージです。変更になる場合がございます。

【GAME : P.O.N.D. ARCADE 2023】

インディーゲームシーンで活躍する新進気鋭ゲームクリエイターが今年も渋谷 PARCOに集結。開催期間中、Dialogue（対話）をテーマにしたインディーゲームを体験頂けます。メディアを越境するここでしかできないゲーム体験をお楽しみください。

[監修]IGN JAPAN 今井晋（副編集長）

- 日時：2023年10月13日（金）-10月15日（月）11:00-21:00
- 会場：B1F GALLERY X BY PARCO
- GAME：Whale Fall/ルビを振るゲーム/デヴィエーションゲーム and more!
- 参加クリエイター：山根 風馬（Whale Fall）/薄羽 涼彌（ルビを振るゲーム）
木原 共/Playfool（デヴィエーションゲーム）

■ 入場料：無料

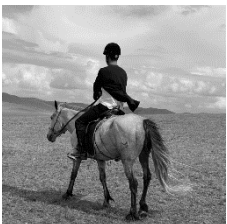
※詳しくは公式HP : <<https://pond.parco.jp/>>にて随時公開いたします。



木原 共/Playfool



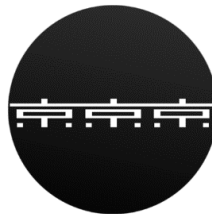
デヴィエーションゲーム



山根 風馬



Whale Fall



薄羽涼彌



ルビを振るゲーム

■ P.O.N.D.×ArtSticker Dialogue～音声ガイド

アーティストと鑑賞者の新しい関係性が生まれる場をつくるアート・コミュニケーションプラットフォーム「ArtSticker(アートスティッカー)」とP.O.N.D.が初のコラボレーション。

「Dialogue / 新しい対話に、出会う」をコンセプトに開催される本年は、ArtStickerによる音声ガイドを通して、作家と鑑賞者、作家間、鑑賞者間、作家と展示空間の関係性から形成される、オルタナティブな対話を創造します。

■ ArtSticker公式HP : <https://artsticker.app/>

■ 視聴料 : 無料

音声ガイドは、ArtStickerのWebサイトではご利用できません。
ご利用する場合は、iOS/Androidアプリのダウンロードが必要となります。
ダウンロードはこちらから

APPLE STORE : <https://apps.apple.com/jp/app/id1446438049>

Google Play : <https://play.google.com/store/apps/details?id=art.tcm.artsticker&pli=1>



また、会期中、音声ガイドご利用の方に、**先着でP.O.N.D.オリジナルステッカー**をプレゼントいたします。(無くなり次第終了)
ご利用画面を4F PARCO MUSEUM TOKYOスタッフにお見せください。

P.O.N.D.2023 Dialogue／あたらしい対話に、出会う。

● 会期 : 2023年10月13日(金)～10月23日(月) 11日間 11:00～21:00

● 会場 : 渋谷PARCO館内外 (PARCO MUSEUM TOKYO・GALLERY X他) <東京都渋谷区宇田川町 1 5 - 1 >

※開催日時はイベント会場によって異なります。

● オフィシャルHP : <<https://pond.parco.jp/>> ● オフィシャルInstagram : <<https://www.instagram.com/p.o.n.d.official/>>

● 渋谷PRACO HP : <<https://shibuya.parco.jp/>> ● PARCO ART : <<https://art.parco.jp/museumtokyo/detail/?id=1313>>

● 主催 : 「P.O.N.D.」実行委員会

● アートディレクション : 石塚 俊

● 空間デザイン : 山田紗子建築設計事務所

● 運営・全体コーディネーター : PARCO、RCKT/Rocket Company*

追加情報は公式HP<<https://pond.parco.jp/>>、オフィシャルInstagram : <<https://www.instagram.com/p.o.n.d.official/>>にて
随時発表いたします。

※営業日時は変更となる場合がございます。詳しくは渋谷PARCOのHP <<https://shibuya.parco.jp/>>をご確認ください。

※企画内容は予告なく変更になる可能性がございます。

<本件に関するお問い合わせ先>

● 株式会社パルコ 宣伝部 那須 nasu-haru@parco.jp / 青木 ao-ryo@parco.jp